

やまがた 金融広報だより

2026.3

「山形県金融広報委員会とは？」

お金についての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。そんな思いで活動しています。



金融・経済講演会を開催しました

令和7年11月3日(月・祝日)、山形テルサにおいて、日本FP協会山形支部及びJ-FLEC(金融経済教育推進機構)との共催により、二部構成で金融・経済講演会を開催しました。第一部ではAFP認定者の庄司晃子氏により「物価上昇に負けない家計術」をテーマに、デジタル化時代の支出のルールや自身の幸せにつながるお金の使い方について講演が行われました。第二部ではお笑いコンビのパックンマックンを講師にお迎えし、『人生100年時代』をテーマに、お金の上手なため方と稼ぎ方について講演いただきました。341名の方にご参加いただき、「大変参考になった」「とても楽しい時間でした」等の感想が寄せられました。また、日本FP協会山形県支部による、ライフプランや家計の見直しなど、くらしとお金に関する無料個別相談会も同時開催しました。



(第一部 庄司晃子氏による講演)



(第二部 パックンマックンによる講演)

COLUMN

お金の知識を あなたの力に

お金は誰もが日々使うものであり、「お金との付き合い方は、必要不可欠な生活スキル」との意識を持ち、お金の知識・判断力をしっかり身に付けることが大切です。トラブル防止に役立つだけでなく、生活や人生をより充実したものにします。

わが国の金融経済教育や資産形成の枠組みは、近年、大きく整備されました。金融経済教育を推進するための中立・公正な認可法人として、金融経済教育推進機構(J-FLEC)が設立されたほか、資産形成に関しては、新NISA(ニーサ)がスタートし、非課税枠が拡大され、活用の幅が広がりました。

企業や学校では、原則10人以上などの要件を満たせば、J-FLECに無料で講師派遣を依頼でき、「社会人として知っておきたいお金の話」、「リタイア前後に知っておきたいお金の話」といったテーマで話をしてもらうことができます。中立公正なJ-FLECの講師を招いて、あるいはセミナーや個別相談に参加して、お金について学んでみませんか。

知るぽると は、金融広報委員会の愛称です。

知るぽるとの「ぽると」とは、「港」「入口」の意味。金融の情報が集まる「港」として、金融知識の身近な「入り口」として、さまざまな活動を展開しています。

知るぽると
山形県金融広報委員会

暮らしに役立つ金融経済情報の普及活動

広く県民の皆様に
分かりやすく伝えます

J-FLEC 講師派遣事業（講座）

学校・公民館・企業・団体・グループ等からの派遣依頼を受けて、J-FLEC(金融経済教育推進機構)の講師を派遣しました。

山形県金融広報委員会は、J-FLECと連携し、『暮らしに役立つ金融経済情報を、中立・公正な立場から広めていこう』という目的・社会的意義に賛同して活動しています。

令和7年度は、36講座の講師派遣を行いました。



(小学生向け)



(大学生向け)

知るぽると生活講座

広く県民の方々に金融経済全般について学ぶ機会を提供しようと、各市町村との共催により講座を開催しています。令和7年は、山形市(2回)、東根市(2回)で開催しました。



(知るぽると生活講座in東根)



(知るぽると生活講座in山形)

金融経済知識の普及活動 山形財務事務所

山形財務事務所では、県民の方々の金融リテラシー向上を図るため、ライフステージに応じた金融経済知識を提供する活動を実施しています。各種講座として、子育て世代には人生の三大資金やNISA制度について、シニア世代には金融犯罪被害防止のための対策について講義を行うなど、参加者に合わせて工夫を凝らしています。また、依頼を受け、夏休みに親子でお金について学ぶ講座の講師を務めることもあります。今後も効果的な講座等の実施を通じて、地域の金融経済知識の普及に貢献したいと考えています。



<夏休み企画 ~親子で学ぼう! お買い物ゲーム~>

金融経済教育の推進活動

お金と経済に関する幅広い学習を通じて、子どもたちの「生きる力」を育む金融経済教育を推進するため、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などを対象として、「金融経済教育研究校」を指定しています。令和7年度は、下記の2校が金融経済教育研究校として研究活動に取り組みました。

学校名	指定期間
山形学院高等学校	令和6年度～令和7年度
山形県立庄内農業高等学校	令和7年度～令和8年度

指定2年目の山形学院高等学校の取組みとして、日本銀行仙台支店の見学を行いました。日本銀行の役割等について講義を受けた後、1億円の重さ体験や、紙幣の偽造防止技術について学び、貴重な経験となりました。

11月28日(金)に行われた公開授業では、人生3大費用から教育費を取り上げ、「奨学金と教育ローン」について学びました。後半は、奨学金を利用して進学し、就職、結婚して現在も返済を継続しながら子育てをしている人の体験談を聞き、これから歩む自分の人生とお金との関わりについて真剣に考える様子を参観することができました。



(日銀で紙幣の偽造防止の技術を学ぶ)



(公開授業)

金融経済教育研究校とは

金融経済教育研究校とは、「金融経済教育」を具体的に実践し、その効果的な方法を研究することを目的として、「金融リテラシー・マップ」※と紐づく内容から、各学校が授業や地域活動に沿って、主体的かつ自由に研究テーマ・活動に取り組む学校のことで、県内の高等学校や小中学校などを指定し、J-FLECや関係機関と連携し、支援を行っています。

当委員会では金融経済教育に取り組む学校へ支援を行うために、「金融経済教育研究校」の指定校を随時募集しています。指定期間は2年間で、①教育研究費の助成、②講師の無料派遣、③金融経済教育に関する資料の提供などを支援します。

研究校の指定を希望する学校は、事務局までご相談ください。

※金融リテラシー・マップとは、金融庁が設置した「金融経済教育研究会」が報告書の中で示した「最低限身につけるべき金融リテラシー」(「家計管理」、「生活設計」、「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」、「外部の知見の適切な活用」の4分野)を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したものです。

金融リテラシーマップ

検索



COLUMN



つみたて
ワニーサ

日本の株価指標、史上最高値

日本株市場が注目を集めています。2025年、日経平均株価はバブル期の高値(38,915円)を34年ぶりに突破し、10月27日には取引時間中及び終値で史上初めて5万円を超え、終値は50,512円となりました。好調は2026年に入っても続いており、日本株市場は過去最高水準にあります(2026年1月末時点)。

背景には、円安による輸出企業の収益改善や政策への期待など複数の要因が挙げられていますが、2024年から始まった新NISA制度による個人投資家の資金流入も一因と考えられています。ニュースを見て投資に興味を持った方もいるのではないのでしょうか。投資初心者にはNISA制度の利用がおすすめです(詳しくはこちら(金融庁HP): <https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>)。

一方で、最近はSNSなどを使った投資勧誘が巧妙化しています。「高いリターンには、必ず相応のリスクがある」という基本原則を忘れず、今後も国内外の政策や為替の動向を確認しながら、慎重に投資を検討しましょう。

J-FLEC との連携

J-FLEC（金融経済教育推進機構）は、国民に広く金融経済教育を届けることを目的に、法律に基づいて官民一体で設立された、金融庁所管の中立・公正な認可法人です。

一人ひとりが経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るために、金融リテラシー（お金に関する知識・判断力）を高められるよう、中立公正な立場から以下の事業を推進しています。

山形県金融広報委員会では、J-FLEC と連携して、様々な金融経済教育を行っています。

▶ J-FLEC のホームページを通じて、金融を学べる教材やイベント・セミナー情報等金融リテラシーの習得に役立つ情報がご覧いただけます。

J-FLECが行う主な事業

- 1 講師派遣（出張授業）
- 2 イベント・セミナー
- 3 個別相談（はじめてのマネープラン）
無料の個別相談体験
- 4 個別相談（はじめてのマネープラン）
有料相談の割引クーポン発行
- 5 教材・コンテンツの無償提供、
動画コンテンツ等
- 6 ウェブサイト・SNSから情報発信

J-FLECホームページはこちら →
<https://www.j-flec.go.jp/>



J-FLEC 認定講師を派遣しています

山形県金融広報委員会ではJ-FLECと連携して、企業や学校・公民館等に講師を派遣し、金融経済に関する様々なテーマの出張授業を無料で実施しています。

▶ 講師派遣の概要

実施日時 土日・祝日を問わず、講師を派遣（年末年始12/29～1/10を除く）

講義内容 金融経済に関する内容全般（金融リテラシー・マップ）に沿って、年齢層別に最低限身につけるべき金融リテラシー（お金に関する知識・判断力）を習得いただけるような授業

講義時間 45～120分程度（ご要望に応じて調整します）

講義方法 対面・オンライン ※会場は、申込者をご用意ください

講師派遣料 講師料や派遣に係る交通費は無料（J-FLECが負担します）

申込方法 「お申し込みから講師派遣までの流れ」をお読みのうえ、講師派遣希望日の**45日前**まで、J-FLECのホームページ内にある「講師派遣申込フォーム」から必要事項を入力の上お申し込みください。

※Webフォームの利用が難しい方は、J-FLECに電話（050-3538-5773）していただくか、50日前まで当委員会にファックス（023-625-8186）で申し込んでください。

▶ J-FLEC講師 お申し込みから講師派遣までの流れ

J-FLEC のホームページ
からお申し込み

J-FLEC から申込者
へのご連絡

講義内容に関する
講師との打ち合わせ

講師派遣の実施

アンケート提出

（注意事項）

- ・受講者は、原則として10人以上です。
- ・会場・機材の手配や参加者に紙で講義資料を配付する場合の印刷は、申込者において費用負担のうえ行ってください。
- ・個社の営業活動やその他収益を得ることを目的とした活動への派遣依頼はお受けできません。

「おかしいな…」「困ったな…」
と思ったら……
一人で悩まず、まず相談！

受付フォーム
はこちら



県では、24時間受付可能なWebフォームで消費生活相談を受け付けています。
回答は相談受付後、3営業日以内にメールで行います。
お急ぎの場合は消費者ホットライン「188」にお電話ください。

いやや！
消費者
ホット
ライン
188!

相談して
ケロ!



局番なしの
いやや！
188 ケロ!

県消費生活センターキャラクター
ケロちゃん

お住いの地域の最寄りの
消費生活センターまたは
消費生活相談窓口につな
がります。

問い合わせ先

山形県金融広報委員会 TEL023-630-3237

〒990-8570

山形市松波二丁目8番1号 山形県消費生活・地域安全課内

FAX 023-625-8186 <https://www3.boj.or.jp/yamagata/yamakinkou.htm>



知るぽると 山形